南相馬市立鹿島中学校部活動運営計画

1	目 的	С	鹿島	中学校	■団活動 ●の生徒 ・育てる	きとし											ながら ・実践
		С	集	団生活	一の決ま	きりき	を守りさ社会	、よ :人と	りよ	い中ため	学校 の基	生活礎的	を築な資	こう 質を	とす	る積 する。	極的な
2	方 針	C			「目標」 : する。	€現0	り場と	して	とら	え、	全生	.徒の	活動	及び	全職	員に。	よる指
		C	部	の設立 初めに	は、学	学校∂ トる。)施設 尚、	設備 2・	・指 3年	i導者 生に	つか	無・ て 4	生徒月中	指導は、	等を 前年	考慮 度の語	し、新 部活動
3	細案	С	教	師相互	の連携 効果を	考をに と高め	はかり りるよ	、保 :うに	:護者 :する	との。	連携	を密	にす	るこ	とに	より、	活動
Э	邢 第1章 第2章	条 条	各	部員は	は、自は、自	うしま	あい、	部に 励ま	所属 し合	し、いな	放課がら	後自 行動	主的し、	に活!	動すの鍛	る。 練と	鹿島中
	第3章 第4章		各部	部は、	が発展に 部長、 部員を	副部	長を	出 計画	し、雇 iに従	頁問教 :つて	数師と 練習	:連絡 する	を密と共	にし	助言 に顧	指導 問教的	する。 師と連
	第5章	条	所	属部の	る。 変更に : 顧問教	ま、原 対師 <i>の</i>	原則と	して	認め	ない	が変	更の	場合	は、	保護	者と	相談し
	第6	条	活	動場所 て行う	f、体育	育倉屋	声、 剖	で安置を	の使	用及	び清	掃に	つい	ては	、各	部でう	責任を
	第7章	条	部	活にふ			ない行	丁動等	が見	られ	る場	合は	、そ	の部	活動	を一日	時停止
4	組織編	戓		学年・	を加入を 学級を が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	とこう	と、共	つる。 E通の	興味	:• 関	心を	もっ	て組	織し	、自	発的に	こ文化
			○ は	部員は 各部で	は登録制 で作成す で設、 ク	削とし ける。	ンて、 (例	: オ	クレご	ンジ・	ヤーの	り活り	月)		_		
				する。	文化的							貝云	哉し		U,	子仪	文 / / / / / /
					体育的			→ 野 バ	球・レー	サッボー	カール(男·	女)		ス (男・ま	女)
								卓 バ	.球(ドミ	〔男・ ント	ボー 女) ・ン (・剣道 男・	道 (男	女) ラ・ 女	()		
			Jun Ne		特設音							泳					
5	運営	C) 1) 毎 :	8 : 0 週水晴	練習時 0まで 目は、	ご (タ 部 活	卜部施 5動休	i設は 養日	:18 とす	:3 る。	0)						
		Č	朝	練習・ 日、長	本練習 提期休第	習の類 と中の	延長は D活動	t、保 hは、	:護者 顧問	と学 教師	īと相	談の	うえ	活動`	行う する	こと。 。	1
		C			、卜期間 、卜期間												
6	入部手約	売き															_
			4 4 4 1 1	月 第3 月 第4 年生の	週の金 週目に 瀬智	を曜日 こ部活 寺間に	∄まて 舌動編 ま、編	*に入 扉成会 扉成会	.部届:を開:	i(指]き、 iは1	定の 1年 7:	用紙 生を 00) 正式で	担任 入部 とす	に提 とす。	出する。	る 。